

e-黒板を「いい黒板」にするための活用法の研究

ーみんなが使いたくなる電子黒板で?どんなソフトウェアがあると使いたくなるの?本当にわたしでも使えるの?ー

佐野市立多田小学校 教諭 金井 信夫

tadasyo@educet.plala.or.jp <http://blogs.yahoo.co.jp/interactiveboard>

キーワード：電子情報ボード、日常的な利活用

1. 企画のねらい

情報機器の発展は目覚ましく授業で活用することが可能な機器やコンテンツが整備されつつあるにもかかわらず、普通教室での普通の教科における活用は一向に進んでいない。その要因のひとつとして、それらの機器を活用することができるのが情報教育に詳しい一部の教員であるという一般の教員が抱いている先入観が考えられる。そこで、本企画においては本校のすべての教職員がすべての教育活動で日常的に「e-黒板」を活用する実践を積み重ねることに、だれでも手軽に使えるという事実と「e-黒板」の活用法を明らかにすることを目的にした。

2. 企画の実際

2. 1 実践記録

実践の記録を詳細に（日時・実施教室・学年・教科・単元名・活用内容・1時間の中での活用頻度）記録することにより、電子情報ボードの利活用に関する検証作業のための資料の提供ができると考えた。上記のような内容を照らし合わせることで、電子情報ボードを利活用する上での、環境・学年・教科・活用法の向き不向き等の検証を行うことが可能になる。記録は研究専用WEBサイト（ブログ）上で公開をしている。

URL <http://blogs.yahoo.co.jp/interactiveboard/folder/894854.html>
<http://blogs.yahoo.co.jp/interactiveboard/folder/1281765.html>

2. 2 ハードウェア・ソフトウェアの検証

企画の実践にあたり、フロント型・リア型・一体型の3種類の電子情報ボードを用意してそれぞれの利点や欠点を明らかにしていきたいと考えた。また、それぞれの電子情報ボードと連携して使用するソフトウェアや教材を作成するソフトウェアを数種類準備し日常的に活用していく中で、どのようなソフトウェアが電子情報ボードとの親和性が高いのかを明らかにしたい。検証の結果を研究専用WEBサイト（ブログ）上で公開することにより、他の実践者が参考にできるようにしている。

参考URL <http://blogs.yahoo.co.jp/interactiveboard/folder/897719.html>
<http://blogs.yahoo.co.jp/interactiveboard/folder/897716.html>

2. 3 実践の公開

(1) WEB上での公開

日々の実践の様子を、研究専用WEBサイト（ブログ）上において写真と動画で公開している。本企画の特徴は「ある教科のある単元でのある教員による実践」ではなく、「多くの教育活動でのすべての教員による実践」であるところである。そのため、あるひとつの実践について報告をしたところで本校の実践を伝えることはできない。そこで、より多くの実践について写真と動画でより多くの人に公開することにより他の実践者の参考となるようにしている。

参考URL <http://blogs.yahoo.co.jp/interactiveboard/folder/986852.html>
<http://blogs.yahoo.co.jp/interactiveboard/folder/1109806.html>

(2) 自主公開授業

WEB上での写真や動画では十分に伝えることのできない実践の詳細を伝えるために、自主公開授業を開催した。指導案や資料はWEB上でも公開し、公開授業に参加できなかった人にも情報を提供している。担任はもちろんのこと、専科や教務主任も授業を行いなるべく多くの教科・活用法を公開することを心がけた（国語・社会・算数・体育・道徳・英語活動）。

参考URL <http://blogs.yahoo.co.jp/interactiveboard/folder/1196298.html>

2. 4 教材・ソフトウェアの開発

電子情報ボードの利活用を進めていく上でハード面での環境構築と並んで重要になるのが教師にとって使いやすい教材の選定や開発である。そのため、本校で長年積み重ねの中で開発してきた学習プリントや提示用コンテンツを更に改良することにも力を注いできた。また、電子情報ボードと親和性の高いソフトウェアの開発も行った。

参考URL <http://blogs.yahoo.co.jp/interactiveboard/folder/1003731.html>

3. 成果と課題

- ほとんどの教員(10/11)が電子情報ボードを使って日常的に実践を積み重ねることができたが、ハード面の環境の問題から日常的に活用する教科が限定されてしまった。(国語・社会・算数・体育・道徳)
- WEBサイト(ブログ)や自主公開授業を通して広く実践を広める努力を重ねてきたが、サイトへの訪問者を増やすことや、公開授業へより多くの人に参加をしてもらうことに対して大きな課題を感じた。